

2015年1月30日

公益社団法人 関西経済連合会

関経連ミャンマー・カンボジア使節団の派遣について

関西経済連合会では、2015年2月15日(日)から21日(土)の間、森会長を団長に関経連ミャンマー・カンボジア使節団を派遣いたします。

ミャンマーでは、2011年の民主化以降、外国投資法をはじめとする法整備や、今年中の開業を目指し日本・ミャンマー両国政府が官民一体で進めているティラワSEZ(経済特別区)の開発など、ビジネス環境の整備が図られています。一方、カンボジアにおいても、現在、開放経済とさまざまな投資奨励策により外資誘致が積極的に行われているところですが、今年末には、両国を含むASEAN経済共同体の発足が控えており、投資先としての両国への関心はますます高まっています。

そこで今回、ミャンマー・カンボジアに使節団を派遣し、両国の政財界要人や現地経済団体幹部等との面談を通じて、持続的な経済発展に向けた両国の政府方針やビジネス環境を把握したいと考えています。また、環境や防災といった関西が強みをもつ分野や人材育成等において協力の可能性を探り、両国と関西のさらなる関係強化につなげてまいります。

<関経連ミャンマー・カンボジア使節団概要>

◇日程：2015年2月15日(日)～21日(土)

◇訪問国：ミャンマー、カンボジア

◇団構成：森会長を団長に、松下副会長・国際委員長、牧野・柏原・沖原副会長はじめ関係委員会委員長・副委員長など 計50名程度で構成

◇懇談テーマ(予定)：

- ・アセアン経済統合や経済連携が進展するなかでの、両国の政府方針や重点施策
- ・両国のビジネス環境の整備に向けた取り組みと課題、産業政策の今後の展望
- ・両国と関西・日本間で期待できる経済交流・人的交流強化の可能性 他

以上